

# 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

病院長名	錦見 尚道
所在地	453-8511 名古屋市中区道下町3丁目3番地
交通案内	地下鉄東山線「中村日赤」駅下車 市バス・名鉄バス「中村保健センター南」下車

## □ 病院の特徴

当院は名古屋市北西部に位置し、一日平均外来患者数約 1,400 名、病床数（許可病床数）852 床、職員数 1,500 名と、この地域の基幹病院の一つです。救命救急センター、小児医療センター、総合周産期母子医療センター、造血細胞移植センター、緩和ケアセンター、化学療法センターを運営するとともに、神経疾患、循環器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患などの診療でも専門科の壁を越えた医療を実践するシステムが整備されており、活力にあふれています。どの領域においても潤沢な症例数と多数の剖検症例を有しており、急性疾患から慢性疾患まで稀少疾患を含む豊富でバラエティーに富んだ症例を経験することが可能な病院です。専攻医が思い切り腕を振ることができるアクティブな研修環境は当院の伝統です。

## □ 研修プログラムの特徴

### 内科専門研修プログラム

名古屋医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設とし、連携施設は名古屋大学関連病院および日本赤十字社が管轄する赤十字病院をはじめ、地域医療に配慮した研修も組み入れています。

多数の総合内科専門医・内科認定医および内科 Subspecialty 領域の専門医を長年にわたり養成してきた実績があり、過去 5 年間に育成した内科系専攻医数は、名古屋大学関連病院の中で最多を誇っています。更に、内科系全領域に渡る潤沢な症例数と多数の剖検症例を有しており、急性疾患から慢性疾患まで稀少疾患を含む豊富でバラエティーに富んだ症例を経験することが可能です。

本プログラムでは、症例のある時点で経験するだけでなく、主担当医として入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に診療にあたり、一人一人の患者の全身状態・社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践していただきます。

研修期間は 3 年ないし 4 年間で、原則として 1 年は立場や役割の異なる連携施設において研修していただきます。内科専門医としての基本的臨床能力獲得後には、さらに高度な総合内科的能力を有するスペシャリストを目指す場合や、内科 Subspecialty 領域の専門医や臨床研究者への道を歩む場合など様々なケースが想定されます。専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて多様なニーズに答えられるよう、5 つのコース（内科基本コース、サブスペ重点コース、内科サブスペ混合コース、連携施設重点コース、地域医療重点コース）を準備しています。



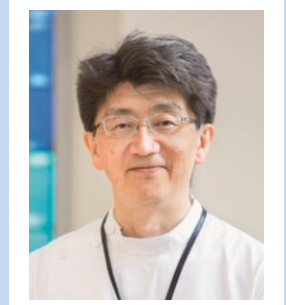
## □ 主な連携施設

中東遠総合医療センター、名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院、静岡済生会総合病院、独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院、名古屋大学医学部附属病院、高山赤十字病院、総合病院 伊達赤十字病院、伊勢赤十字病院、藤田医科大学病院、新城市民病院、豊橋市民病院、大同病院、一宮市立市民病院、海南病院、小牧市民病院、愛知県がんセンター、名古屋セントラル病院、津島市民病院、公立西知多総合病院、JA 愛知厚生連 知多厚生病院

## □ メッセージ

### プログラム統括責任者（第一脳神経内科部長 後藤 洋二）

当院の内科は、循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・血液内科・内分泌内科・腎臓内科・脳神経内科の 7 分野および総合診療科・化学療法科で構成されて、各科が緊密に連携し専攻医を指導しているのが特徴です。当院では、内科学会で研修目標とする 67 分野 200 症例以上に内科全領域の疾患を幅広く経験できます。豊富な臨床経験を持つ指導医のもとで基本的なコモンディジーズから高



度な知識や技術を必要とする疾患まで診断と治療技術を学ぶことができます。循環器内科では心臓外科ともタイアップしたインターベンション治療、消化器内科では ESD を初めとする高度な内視鏡治療技術・拡大内視鏡を用いた内視鏡診断、呼吸器内科では肺癌に対する最新の化学療法・気管支鏡による最先端の診断技術を学ぶことができます。国内有数の骨髄移植件数を誇る造血細胞移植センターを有する血液内科では骨髄移植を学べ、腎臓内科では腎疾患に加えて多数の膠原病を経験でき、脳神経内科では脳卒中急性期医療および神経変性疾患など特殊な神経内科疾患を多数経験することができます。大部分の専攻医は内科専門医取得後、サブスペの専門医も取得しています。内科専門医・サブスペ専門医の取得を目指す皆さん、一度見学に来て下さい。大歓迎致します。

## □ 募集要項

・採用予定人数	13 人
・給与／月額	3 年次：457,930 円
・当直回数／月	2-3 回
・当直料／回	勤務体制に応じて支給
・その他	
・応募連絡先	担当者 教育研修管理課 電話番号 052-481-5111（内線 54145） Eメール kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp